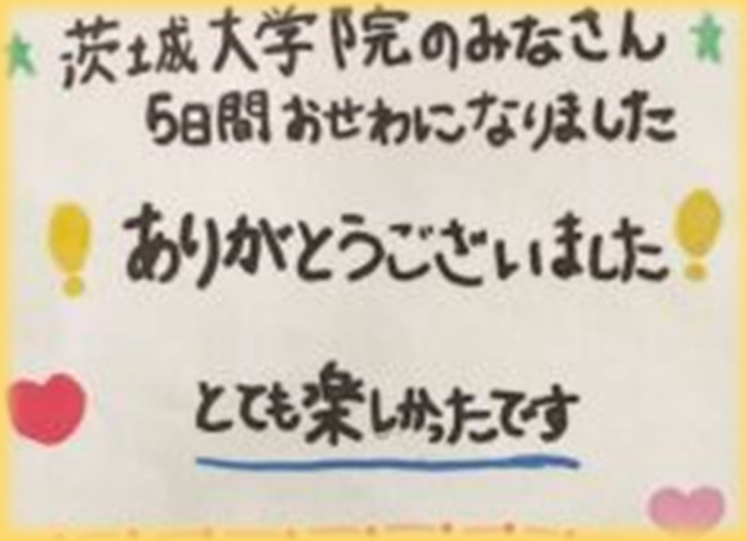
茨城大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻（教職大学院）

放課後児童クラブでの実習-多様な場・多様な子どもへの対応-



本学の教職大学院では，多様な場で，多様な子どもに対応する柔軟な力を身につけるために「教材開発実習」を設定しています。①放課後児童クラブ，歴史館，美術館などを実習場所とし，②教科の枠を超えて様々な専門性を持つ大学院生が共同で取り組む，という非常にユニークな実習内容となっています。

写真は水戸市内の放課後児童クラブさんにご協力をいただいた実習の様子です。実習は全部で５日間行われます。

実習の前半は、支援員の皆様の補助をしながら、お子さんや施設の環境などを把握し、後半では夏休みの児童クラブで提供できる活動をグループ企画・運営します。

これらの実習は「融合科目」とも連動しており，大学で座学として学んだ内容を実践の場でも試せるようなカリキュラムが設定されているのも本学の教職大学院における特徴のひとつです。